



蒲生高校だより

第6巻 第3号 (通巻18号)

発行日 平成20年3月25日

鹿児島県立蒲生高等学校

躍進蒲生に更なる努力を!! 校長 川上 兌

2月29日に教室棟玄関前の敷石工事が完了し、2年間にわたる教室棟の耐震工事が完了しました。見違えるような校舎に変わり、何よりも安全で安心できる校舎に生まれ変わったのです。生徒の皆さんは、この校舎で、切磋琢磨しながら自己の向上を図り、21世紀を生き抜く力を蓄えて欲しいと思います。他にも情報処理棟と渡り廊下の雨漏り工事、管理棟屋上の耐熱工事等も実施しました。

また、昨年度に引き続き、学校保健

優良校として本年度も表彰されました。本校の保健活動、環境美化活動、安全教育、防災教育、体育指導等、様々な活動が評価されたものです。校舎が整備されたことと併せて、好ましい環境の中で校内外をきれいに使いながら公共心を高めることにも繋げていきたいものです。

一方、進路面では今年度は4年生大学、短大を含めた上級学校への進学率は希望者の90%以上、就職も県内希望者が多い中、内定率は昨年の実績を大きく上回ることができました。国立大学の合格は次年度の課題となりました。

たが、3年生の頑張りは見事でした。

部活動面でも、ワープロ部が団体速度の部で15年連続九州大会出場、個人の部でも優勝し全国大会に出場しました。ハンドボール部は総体県予選では惜しくも準優勝に終わりましたが、南九州大会は県予選及び本大会で優勝、また、県新人戦でも優勝し、九州大会に出場しました。他の部も力をつけてきており、来年度の活躍が期待されます。

終わりに、次の百年の新たな歴史を作るべく躍進する蒲生高校を目標に、一丸となって更なる努力を重ねていきましょう。

雪・古都・歓声 ~修学旅行の思い出~

2学年主任 坂口 新一



金閣寺の前にて

恒例の修学旅行に行ってきました。今年は京都御所と京都国立博物館を見学場所に加えて、あわただしい行程ではありましたが、充実した研修ができたと思います。

数年来の雪不足でスキーができるかどうか危ぶみましたが、初日は快晴で、積雪百十cm、二日目は新雪に苦戦しながらも、白銀の世界を、颯爽と(?)滑ることとなりました。

清水寺や金閣寺では、うわさに聞いた舞台や本当に金ピカの建物を背景に

シャッターを切り、外国人とおぼしきツアー客と片言の会話を試みる姿がありました。

旅館では、昼間引いたおみくじの心を解き、同じ年の舞妓さんと過ごす楽しい時間もありました。

幕の内弁当のように様々なものを要領よく詰め込んだ修学旅行。高校時代の良い思い出になると同時に、本物の良さを味わうための手がかりにして欲しいとも思います。



USJにて



教室棟耐震補強大規模改造工事終了

事務長 小田 榮一

平成18年度から続いていた耐震補強

工事が、このほど終了いたしました。総工費は約2億1千万円です。昇降口玄関はインターロッキング舗装に加えてスロープもつきました。また、女子生徒用靴箱は檜集成材で県下初の三足収納タイプです。

大事に使いましょうね。(将来あなたの子どもたちが学ぶことも考えて!!)



箱館山スキー場にて

ハンドボール部

県新人大会 優勝

2/8~11に長崎県佐世保市で行われた九州大会に出場、全国選抜大会(九州から5チーム)をかけて戦いましたが、大分鶴崎高校に惜敗。

惜しくも全国大会への切符を逃した。

校内ロードレース大会

2月12日火曜日に校内ロードレース大会が実施されました。天候が心配されましたが、予定通り開催することができました。今大会では新記録は出なかったものの、参加した生徒全員が制限時間内にゴールし、またリタイアする生徒が一人もないという例年にな

ない良い結果でした。当日の頑張りや事前の授業における練習の成果だと思えます。



生徒達はゴール後、PTAの方々が準備して下さったドリンクや飴で疲れを癒しました。

男子(10km)の部

- 1位 田中 祐馬(普2-2) 36分9秒
- 2位 井出上 壮介(普2-1)
- 3位 大田 亮(情2-2)

女子(5km)の部

- 1位 児島 佑弥(普2-2) 20分25秒
- 2位 中村 優歩(普2-2)
- 3位 戸塚あゆみ(普2-2)

クラス順位 優勝 普2-2
準優勝 情2-1
第3位 情1-2

1月29日、職場・上級学校訪問を実施しました。1年生に、出来るだけ早い時期から進路意識を高めて欲しいという思いではじめて、今年で6回目になります。

当日は、4コースに分かれて、バス4台で出発しました。鹿児島動物専門学校・鹿児島ハイテク専門学校・鹿児島国際大学・短期大学部(Aコース)、鹿児島医療福祉専門学校・鹿児島情報ビジネス専門学校・鹿児島県美容専門学校(Bコース)、第一リハビリテーション専門学校・第一工業大学・第一幼児教育短期大学・志学館大学(Cコース)、福山醸造株式会社・自衛隊国分駐屯地・株式会社京セラ国分工場(Dコース)の11校、3事業所です。

それぞれの上級学校では、充実した設備を見学し、カリキュラム等の説明を受けました。また、事業所では、働くことの意義や責任を身をもって感じ

ることでした。訪問先の方々は、本校生のために、多忙な業務を調整して、親身になって対応して下さいました。心から感謝申し上げます。

みな、いずれ何らかの職業に携わることになります。様々な機会を活かし、体験を自分のものとして、将来について真面目に考え、学ぼうとする姿勢を持ち続けて欲しいと思います。

職場・上級学校訪問

～前へ!～

1学年主任 瀬尾 重俊

感想文を紹介します。

・ 専門学校を訪問して、どの学校も生徒は一生懸命に専門の知識を学ぼうとしているのだという事を感じました。私はまだ進路について悩んでいます。進学すればまたより高度な

知識を学ぶことができると思うし、就職したらまた新たなことに会えると思います。これからのことはまたじっくりと考えて、自分の進みたい道に進んでいって、将来なりたいと思う職業に就きたいと思いました。

・ この職場訪問で感じたことは、こうやって食べ物があったり便利なものがあったり平和なのは、毎日休まず一生懸命寒い中でも暑い中でも働く人がいるからだとことです。私もそういうふうになれるように今のうちから何にでも一生懸命取り組むことができるようになりたいと思います。

・ 異なる職業の専門学校を訪れてみて、1つ1つの職業への意識が変わりました。まだ1年生ではなく、もう1年生という自覚をもって、この学校訪問を生かしていきたいです。



生徒会ボランティア活動について

生徒会係 玉城 和子

2月22日(金)、部活動生を中心に周辺の道路清掃・施設訪問・チャリティウォークを行いました。当日は、小雨のちかつく日でしたが、部活動生を中心に生徒・職員合わせて149名が活動に参加しました。4つのルートに分かれて行った道路清掃で、持ち帰ら

れたゴミは数十袋にもなりました。別のグループは、ろうけん大橋を訪問し、窓拭きやベッド拭きを手伝いました。施設の方々にも大変喜ばれました。また、今回初めてチャリティウォークを行い、「ドイツ国際平和村」への募金の協力を呼びかけま

した。少しでも地域のお役に立てたという目的で行った活動でしたが、終了後は達成感で清々しい気持ちになれた活動でした。

今後もどんなボランティア活動ができるか生徒会を中心に計画していきたいと考えています。そのときは皆さんのご協力をぜひお願いします。



バレンタインデー交通安全キャンペーン

～事故防止の願いを込めたお守り配布～

2月14日に毎年恒例になった「バレンタインデー交通安全キャンペーン」を今年も実施しました。



これは、バレンタインの日に、生徒達が本校正門前の県道で通行車両のドライバーにチョコレートと配布しながら安全運転を呼びかけるキャンペーンです。この取組みは、加治木安全運転管理協議会と加治木警察署の協力で、数年前から生徒達が自主的に参加して行うものです。

当日は、生徒会長の森友紀さんが「交通安全の誓い」を読み上げた後、女子生徒ら約50人が飲酒運転撲滅のチラシやチョコレートを配布しながら交通安全を訴えました。

今年はチョコレートと一緒に生徒達による手作りの「お守り」も添えて配布しました。このお守りは、家庭クラブのクラブ員がデザインを考案して作成したものです。「葉」のデザインは「葉の葉」のイメージで「鈴」は魔よ

てもらいました。そのお守りをドライバーの皆さんに無事故を祈願して配布しましたが、生徒達の心の中にもったお守りをどのドライバーもうれしそうに受け取って下さいました。



先輩による進路講話

2月5日(火)、本校体育館にて1・2年生を対象とする、「先輩による進路講話」が行われました。講師は3年生で、各クラス1名計4名が、3年間の様々な体験とその思いを語ってくれました。1・2年生は、貴重な話を聞けるとあって、また、自分の進路に役立てようと興味津々、真剣な眼差しで講話に聞き入っていました。

講師の一人、普通科3年2組の長谷幸祐君は、「進路に対する準備は早い段階から行うことが必要」と語り、最後に、「1・2年生の皆さんも進路実現に向けて頑張ってください」とエールを送ってくれました。

就職・進学いずれにせよ、共通して言えることは、「欠席・遅刻をしない」、「社会人として必要最低限の接遇マ

ナーを身に付ける」ということです。そして何より、「目標をしっかりと定め、進路実現に向けて全力で取り組むこと」が大事なのです。

講話後のアンケートの中にも、「早速明日から進路指導室に足を運びたい」といった意見や、「現状を知ることができ、とても勉強になった」といった内容の意見が多数あり、生徒の進路に対する前向きな姿勢を窺うことができる大変意義のある講話となりました。



ホームページもご覧ください

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/>

鹿児島県良郷蒲生町下久徳848-2

鹿児島県立蒲生高等学校

電話 0995-52-1155

FAX 0995-52-1161

